

環境負荷

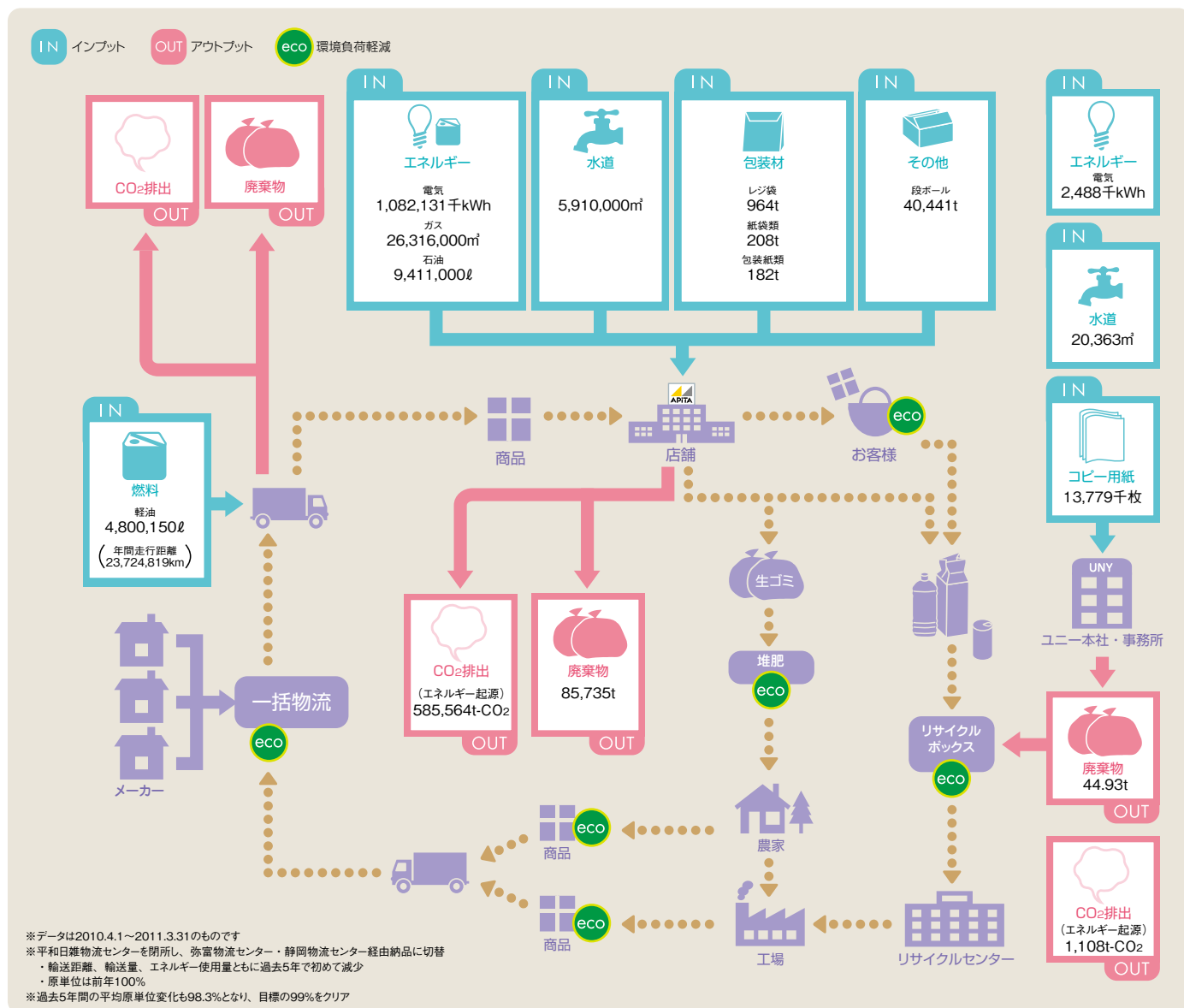
企業活動は、電気やガス・石油などのエネルギーを使いCO₂などの地球温暖化効果ガスを排出するなど、地球環境に影響を及ぼします。これを環境負荷といいます。

環境負荷をできるだけ出さないよう、継続的に軽減していくために、その原因を調べ対策を考え行動することを、従業員や関係者がそれぞれの役割のなかで実践しています。

事業活動における環境負荷

ユニーにおける環境負荷の大きな原因は、店舗でのエネルギー使用です。照明や空調、食品売場の冷蔵冷凍庫などで電気やガス・石油などのエネルギーを使います。商品の輸送や保管する倉庫などでも多くのエネルギーが必要です。エネルギー使用に伴い、地球温暖化の原因といわれているCO₂などを排出しています。それ以外にも店舗から排出する廃棄物や、お客様が商品と一緒に持ち帰る容器包装も環境負荷の大きな原因になっています。

ユニーではこれらの原因を明らかにし、環境負荷の低減に努め、エコ・ファースト企業として持続可能な社会を目指します。



業務本部 システム物流部
物流担当部長 村井秀紀

環境負荷の低減に向けて、物流においては、商品を輸送する時にはできるだけ燃料を使用しない（＝CO₂の削減）、オリコン（通い箱）納品の拡大（＝ダンボールの削減）に取り組んでいます。2010年度は、平和日雑物流センターを閉所し、弥富・静岡物流センターに統合、その結果、輸送距離は前年比97.5%、輸送量は前年比97.8%・エネルギー使用量は前年比98.2%といずれも減少し、過去5年間の平均原単位変化も98.3%となり、目標の99%を達成できました。

また、オリコン納品を全エリアに拡大、対象カテゴリーも拡大させ段ボール削減に貢献することができました。今後もさらなる環境負荷低減に向けて取り組んでまいります。